

# 施策評価シート （評価対象年度：令和元年度）

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 広域連携の充実	② 施策番号	3207
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 広域連携の強化		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	環境整備課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	周辺自治体
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	火葬場事業について、効果的な広域連携の充実に努める。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	基礎自治体の広域連携のきっかけとなった権限移譲について、人口急減社会にあってはより効率的・効果的な自治体経営が求められており、広域連携はその有力な手法とされている。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 火葬件数 計算式	件	火葬場の利用状況が把握できる。
② 計算式	%	
③ 計算式		

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考	
			—	—	—	1,275	1,536		
①	火葬件数	件	目標値	—	—	—	1,275	1,536	
			実績値	688	574	1,236	—	—	
			達成率						
②		%	目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性
1	火葬場施設管理運営事業	人体火葬件数	件	574	1,236	1,275	18,616	65,135	62,052	A	ア	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						18,616	65,135	62,052			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	近隣自治体と連携を図ることは、まさに事務の広域連携につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2〔2〕の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	阪南市と共立で火葬場を建設、平成31年4月から運用を開始した。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	火葬場は市民生活に必要な不可欠な施設である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2〔3〕を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	円滑な火葬業務を実施するため、適切な火葬場施設管理運営事業は必要である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2〔3〕において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	人口が急減し自治体消滅が叫ばれる中、自治体経営の効率化に積極的に取り組む際、その手法として広域連携を重点的に進める必要がある。

### 4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	A	予定より供用開始が遅れたが、新火葬場が完成し、昨年4月1日から順調に稼働しており、特に課題はない。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	—
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	—
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	—

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	新火葬場の建設について、適切に取組が進められ供用開始された。 広域連携による新火葬場運営への取組を引き続き進められたい。	